



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 2023年6月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	10,027	24.1	573	8.0	482	△8.8	312	△2.7
2022年9月期第2四半期	8,083	13.9	531	73.3	529	64.8	321	61.0

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 △109百万円(—%) 2022年9月期第2四半期 370百万円(29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	23.67	—
2022年9月期第2四半期	24.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	15,306	5,804	37.4
2022年9月期	14,757	5,980	39.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 5,723百万円 2022年9月期 5,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年9月期	—	5.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	10.0	650	2.4	630	2.2	380	△25.8	28.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年5月12日)公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	13,410,000株	2022年9月期	13,410,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期2Q	200,227株	2022年9月期	200,227株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期2Q	13,209,773株	2022年9月期2Q	13,209,823株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年10月1日~2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み、商流が回復傾向にある一方、ロシア・ウクライナ情勢等によるエネルギー価格上昇に伴う原材料価格や人手不足による人件費の高騰から企業経営を取り巻く環境は引き続き厳しく、世界的な金融引き締めの継続に伴い海外では金融機関が破綻するなど世界景気の下振れがわが国経済へ与える影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当連結会計年度は、ここ数年推進してきました一連の施策(販売先と商品アイテム数の選択と集中、「粧美堂(SHOBIDO)」の真のメーカー化、ニッチカテゴリーにおけるシェアNo.1商品の開発ならびにシェア獲得施策)を継続して推進しております。また、SNSなどの普及によりメーカーと個人(消費者)が直接コミュニケーションを取ることが一般化してきていることを踏まえて、従来から進めております自社メディア育成をより強化してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会が正常化に向かったことや戦略的に進めてきた重点販売先に対する全社一丸となった営業強化が引き続き奏功し、対前年同期比24.1%増の10,027,930千円の増収となり売上総利益額は2,679,909千円で対前年同期比9.6%増となりました。一方で同利益率は、表面的な利益率は低いものの受注生産のため返品がなく安定的かつ効率的に利益が残せるOEM商品の売上が大幅に伸びたことと、円安の影響により海外生産の自社企画商品の売上原価が上昇したことを主因に26.7%と対前年同期比3.5ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、売上高が大幅に伸びたことに伴い販売促進費、物流費などが増加した結果、対前年同期比10.1%増の2,106,170千円となったものの、売上高の増加によりコストアップ要因を跳ね返し営業利益は対前年同期比8.0%増の573,738千円となりました。経常利益は為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損を営業外費用に計上したことを受けて対前年同期比8.8%減の482,770千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は312,689千円(対前年同期比2.7%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間は前年比で大幅に円安が進行し売上原価が高騰する中で、ここ数年継続して行ってきた選択と集中(取扱商品数と販売先)、仕入れ商品から自社企画商品への切替、固定費圧縮、組織の大幅刷新による意思決定の迅速化、人事報酬制度の見直しを中心とした経営基盤の強化と化粧品・化粧雑貨等自社企画商品の開発施策を着実に実施し営業利益段階においては増益を確保することができました。

上述した為替デリバティブ取引については、一部金融機関との間で輸入取引の決済に充当する外貨を実需の範囲内で受け取る契約を締結したものであり、当連結会計年度末である2023年9月末までに当該契約は消滅いたしますので、当連結会計年度の為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損は発生いたしません。また調達した外貨については順次輸入決済に使用しておりますので現時点において当該取引が当連結会計年度における業績予想に重大な影響を及ぼすものではないと判断しております。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧品・化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の外出機会が増加したことや重点販売先への営業強化の成果が実り、化粧品・化粧雑貨全般が前期に引き続き好調に推移しました。注力カテゴリーであるネイルケア・ネイルアート・前髪関連商材を中心としたヘアケア、ヘアアクセサリ、マーケティング戦略が奏功した二重まぶた用化粧品、キッズコスメなどが順調に推移し6,706,284千円(対前年同期比20.9%増)と大幅増収となりました。

②コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外市場とりわけ中国市場でのロックダウンの影響があったものの、国内市場では大幅な増収を確保し1,267,400千円(対前年同期比3.5%増)となりました。

③服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、キャラクターをあしらった小物類の売上などが好調に推移し1,514,913千円（対前年同期比72.4%増）となりました。

④その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、入園入学用品の新規導入などから、539,331千円（対前年同期比24.6%増）と増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて548,994千円増加し、15,306,945千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて607,914千円増加し、12,091,574千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が253,949千円、商品及び製品が402,851千円、その他が650,713千円増加したことに対し、為替予約が584,672千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて58,920千円減少し、3,215,370千円となりました。

これは主に、有形固定資産のその他が60,716千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて724,416千円増加し、9,502,228千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて716,338千円増加し、5,747,073千円となりました。

これは主に、短期借入金が800,000千円、為替予約が80,490千円増加したことに対し、その他が138,462千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8,077千円増加し、3,755,154千円となりました。

これは主に、長期借入金が158,000千円増加したことに対し、その他が156,350千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて175,422千円減少し、5,804,716千円となりました。

これは主に、利益剰余金が246,640千円増加したことに対し、繰延ヘッジ損益が396,737千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて101,696千円減少し、4,131,591千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、△972,779千円（前年同期は190,118千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益を482,770千円計上するとともに、減価償却費92,521千円があったこと、売上債権の増加△245,880千円、棚卸資産の増加△402,064千円、預け金の増加△626,929千円、法人税等の支払額△187,784千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、△42,874千円（対前年同期比66.6%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出△31,065千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、920,162千円（前年同期は132,235千円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額800,000千円、長期借入れによる収入1,200,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△1,013,000千円、配当金の支払額△66,152千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表いたしました2022年9月期決算短信記載の「2023年9月期の連結業績予想」の修正を行っております。詳細につきましては、本日（2023年5月12日）公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2023年9月期通期連結業績予想の修正（2022年10月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,400	400	380	210	15.90
今回修正予想（B）	19,000	650	630	380	28.77
増減額（B－A）	600	250	250	170	
増減率（%）	3.3	62.5	65.8	81.0	
（ご参考）前期実績 （2022年9月期）	17,280	635	616	511	38.75

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,541,749	5,441,702
受取手形及び売掛金	3,535,885	3,789,834
商品及び製品	1,389,679	1,792,531
原材料及び貯蔵品	163,280	148,199
為替予約	660,040	75,367
その他	194,325	845,038
貸倒引当金	△1,300	△1,100
流動資産合計	11,483,660	12,091,574
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,152,053	1,091,336
有形固定資産合計	2,459,946	2,399,230
無形固定資産		
のれん	230,472	216,067
その他	31,500	28,862
無形固定資産合計	261,972	244,929
投資その他の資産		
投資有価証券	188,867	192,270
その他	366,323	379,445
貸倒引当金	△2,819	△505
投資その他の資産合計	552,370	571,210
固定資産合計	3,274,290	3,215,370
資産合計	14,757,950	15,306,945
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,687	2,038,261
短期借入金	100,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,812,000	1,841,000
未払法人税等	201,180	178,173
賞与引当金	133,857	107,600
為替予約	—	80,490
その他	740,010	601,548
流動負債合計	5,030,735	5,747,073
固定負債		
長期借入金	3,267,500	3,425,500
役員退職慰労引当金	115,650	121,800
資産除去債務	70,717	70,996
その他	293,208	136,858
固定負債合計	3,747,076	3,755,154
負債合計	8,777,811	9,502,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,549,231	4,795,871
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,277,972	5,524,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,535	46,215
繰延ヘッジ損益	436,744	40,006
為替換算調整勘定	131,899	113,154
その他の包括利益累計額合計	613,178	199,377
非支配株主持分	88,987	80,726
純資産合計	5,980,138	5,804,716
負債純資産合計	14,757,950	15,306,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	8,083,772	10,027,930
売上原価	5,639,320	7,348,020
売上総利益	2,444,452	2,679,909
販売費及び一般管理費	1,913,014	2,106,170
営業利益	531,437	573,738
営業外収益		
受取利息	4,259	8,736
受取配当金	2,127	2,186
受取手数料	3,579	3,815
不動産賃貸収入	27,913	5,280
為替差益	13,396	—
その他	1,019	4,020
営業外収益合計	52,295	24,038
営業外費用		
支払利息	11,241	12,970
不動産賃貸費用	24,808	770
事業所閉鎖損失	17,387	—
為替差損	—	97,987
その他	750	3,276
営業外費用合計	54,187	115,005
経常利益	529,545	482,770
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	29,881	—
特別損失合計	29,881	—
税金等調整前四半期純利益	499,664	482,770
法人税、住民税及び事業税	139,200	166,688
法人税等調整額	42,562	5,784
法人税等合計	181,762	172,473
四半期純利益	317,901	310,297
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,566	△2,392
親会社株主に帰属する四半期純利益	321,467	312,689

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
四半期純利益	317,901	310,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,556	1,680
繰延ヘッジ損益	50,398	△396,737
為替換算調整勘定	21,025	△24,613
その他の包括利益合計	52,867	△419,670
四半期包括利益	370,768	△109,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,924	△101,112
非支配株主に係る四半期包括利益	1,844	△8,260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	499,664	482,770
減価償却費	99,532	92,521
のれん償却額	14,404	14,404
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	200	△2,514
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,997	△26,257
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2,181	3,259
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,300	6,150
受取利息及び受取配当金	△6,386	△10,922
支払利息	11,241	12,970
ゴルフ会員権評価損	29,881	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△234,985	△245,880
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△350,312	△402,064
仕入債務の増減額 (△は減少)	315,461	△3,416
預け金の増減額 (△は増加)	—	△626,929
その他	△155,317	△75,601
小計	186,866	△781,508
利息及び配当金の受取額	7,708	9,696
利息の支払額	△12,427	△15,304
法人税等の還付額	57,094	2,122
法人税等の支払額	△49,123	△187,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,118	△972,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△2,559	△1,649
有形固定資産の取得による支出	△86,257	△31,065
無形固定資産の取得による支出	△4,642	△3,365
その他	△35,013	△6,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,471	△42,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	800,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,065,500	△1,013,000
配当金の支払額	△66,059	△66,152
その他	△676	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,235	920,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,307	△6,205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△61,280	△101,696
現金及び現金同等物の期首残高	3,709,970	4,233,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,648,689	4,131,591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。